



焼きたての広島風お好み焼きなどをおなかいっぱいに食べた子どもたち

「いっぱい食べてね」

おらが村、子どもたち招待

室蘭言泉、わかすぎ両学園

室蘭市輪西町のお好み焼き店・おらが村(堀井年隆村長)は5日、市内母恋南町の障がい児入所施設と児童養護施設の室蘭言泉、わかすぎ両学園(伊藤裕司施設長)

の子どもたちと引率者43人を招き、焼きたての広島風お好み焼きとマヨネースたこ焼きを振る舞った。

5日の「子どもの日」に合わせ、1991年(平成3年)の開店から毎年実施。熱々のお好み焼きが次々とテーブルに運ばれ、香ばしい匂いが漂った。富士智員店長が「おなかいっぱい食べて」と呼び掛けると、子どもたちは「いただきます」と頬張った。

「おいしいね」と笑顔を広げ、食べ終わった後は代表児童たちが「いつもありがとうございます」とお礼を述べ、村長の似顔絵を描いた色紙などを贈った。

(成田真梨子)